



横須賀市立 城北小学校 学校便り

令和4年度 第4号

城北小通信



令和4年(2022年)6月27日

横須賀市立 城北小学校長 森 昭夫

子ども達の健康と安全を願って

7月が見え、いよいよ夏本番になってまいりました。

4月からの城北小学校での生活、気温と湿度が上昇するこれからの(学校)生活において、留意してほしいことをお伝えします。



①交通安全

交通事故は、一瞬で命を奪う可能性のある起きてはいけないことであり、誰もが巻き込まれる・起こす可能性のある災害です。

城北小学区には、危ない箇所が多くあり、学校でも「飛び出さないこと」「横断歩道でも一時停止をすること」など、常に交通指導をしております。左の画像は、1年生と3年生を対象にした交通安

全教室の様子です。1年生は登下校について、3年生は自転車の乗り方についてを重点的に指導しま

す。「よくお話を聞いてくれました」と、指導された安全協会の方がほめてくださいました。話を聞くだけではなく、その内容を実行できるようにできれば、と思います。ぜひご家庭でも折に触れ、交通安全のお話をお願いします。

知っていますか？ 高エネルギー外傷

体に大きな力(高いエネルギー)が加わって起こった外傷である。スピードの速い交通事故、落下事故などが該当する。身体内部の広い範囲で組織が破壊されている恐れがあり、目に見える徴候がなかったとしても生命に危険を及ぼす可能性がある。

校長はこの経験があります
当人は「大丈夫」と思っていました
が、結果大けがでした



②水筒の自己管理について

以前水筒の持参については、時期を決めておりましたが、今では年間を通して子ども達は持ってきています。そこで改めて保護者の皆さまに知っておいてほしいことをお伝えします。それは、水筒管理についてです。衛生的に見て心配な面がありますので、年間を通して水筒持参については、次の点に注意してください。

- ① 飲み物を入れて持ってくる物は水筒にしてください。清涼飲料メーカーが加盟する全国清涼飲料工業会によると「ペットボトルを水筒代わりに使うことを想定しておりませんし、衛生上、安全上の問題から決してお勧めできません。」とのこと。補給のためのペットボトル持参もおやめください。
- ② 中身は水かお茶類にしましょう。スポーツドリンクは、糖分の過剰摂取となるので好ましくありません。また、酸による内部コーティングの溶け出しによる健康被害も出ているようです。これは、洗浄時についてしまった傷からも同様の症状が起こりうるそうです。
- ③ 持参した水筒は、その日に必ず持ち帰り、よく洗うようにしてください。最近の水筒は、飲みやすさなど機能面が優れてきている反面、構造が複雑になっています。飲み口やゴムのパッキンの衛生管理に留意してください。

③水泳学習について

6月に入り、全校向けのプリントにて今年度の水泳学習についてお伝えしました。

城北小学校では、4～6年生を対象に水泳学習を行うこととなります。このことへのご理解とご協力、感謝申し上げます。つきましては、今年度この決定をするにあたり、協議事項となったことをお伝えし、ご家庭のお取り組みをお願いいたします。



1～3年生は、本校での水泳について未経験であったり経験が少ないことが実施を見送った一つの理由となっております。命にかかわる水泳学習なので、万全の体制で子ども達を指導したいと思っています。（水辺の安全については、夏休み前に画像等による学習を行います）

そこで、今年の夏にご家族で水に慣れる活動をしていただきたいと思います。幸いにも城北小学校のプールは、公園プールとして夏休み中に無料開放されます。（市HP参照 7月実施時期に合わせて公開）

これは、3年前にも実施されていた事業なので、不明な点は近隣の方や横須賀市公園管理課にお聞きください。

「水に顔をつけられるようになったよ」とか「着替えが一人でできるよ」等々、水泳に関することの経験をさせてほしいと思います。水の事故には留意して。どうぞよろしくお願いいたします。

④余談～スキップ伝説～



先日の朝会で前述の交通指導と合わせ、学校内の交通安全についてお話をしました。校内の安全指導の第一は「廊下は走らない」です。最近子ども達は、一たび転ぶと、大きなけがをします。手よりも先に顔が地面に行くことが多いのです。言い方を変えれば、手が先に出ない、のです。

この2つのことを踏まえると、廊下で衝突事故が起きると、大きなけがにつながります。走っている子どもは、まさか自分が転ぶなんて思っていないのですから、転んだ時、咄嗟の行動がとれないことは予想できます。

転んだ先に何があるかは考えていないので、誰かと衝突すれば頭に大きな衝撃が加わることもあります。（実際、他校では数年治らない大けがをした事例があります）

走る場面を見ると、教職員だけではなく子ども同士でも「走ってはダメ」と注意をします。そこで言い訳的に使われてきたのが『スキップ』です。

「走ってないもん！スキップだもん！もん！もん！」（遠ざかっていく様子）

これが小学校あるあるの「スキップ伝説」です。

ではそもそも走るとはどのような行動なのか。調べ、朝会で伝えました。

走るとは：両足が同時に地面に接する瞬間が無いような移動のしかた です。

スキップも見事に走る行為なのです。きっと本人も分かっているのでしょうけれど。

この朝会后、スキップは見なくなりました。でも走る子どもはまだいます。

学校内で大けがにつながるような事故が起きないように見守り、指導して参ります。